

会 議 議 事 録

1 会議名	平成30年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題 活力創出交流基盤整備計画】
2 開催日時	平成31年2月7日（木曜日） 午後1時30分から3時30分まで
3 開催場所	まちなかキャンパス長岡3階 301会議室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>大塚委員長 小川副委員長 並木委員 山田委員 土屋委員 矢澤委員 湯本委員</p> <p>(事業説明者)</p> <p>・長岡市</p> <p>小山土木部長（事務局兼） 土木政策調整課：谷畑課長（事務局兼） 有賀課長補佐 平澤室長 岡村係長 道路管理課：中川課長 川瀬課長補佐 稲田係長 道路建設課：石黒課長 松井係長 地域建設課：太刀川課長 金子係長 市民課：成田課長 桐生係長 交通政策課：山本課長 風間係長 都市開発課：小見課長 早川主任 栃尾支所建設課：桜井課長 稲田係長 警防課：佐藤課長 佐藤係長</p> <p>・新潟県</p> <p>都市局都市整備課：小林係長</p> <p>(事務局)</p> <p>土木政策調整課：長谷川課長補佐 岩渕係長 小林主査</p>
5 議題	<p>1 制度概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業評価制度の概要 ・社会資本整備総合交付金制度の概要 <p>2 社会資本総合整備計画の概要について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・上位計画の概要 ・事業概要及び実施状況 <p>3 評価結果の内容について（審議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果の達成度 ・事業の効果発現要因の整理 <p>4 今後の社会資本整備について（審議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の社会資本整備の方策 <p>5 今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会終了後の手続き
6 審議結果の概要	<p>議題1・2・5について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p> <p>議題3について 評価の妥当性について了承された。</p> <p>議題4について 評価書のとおり了承された。</p>
7 審議の内容	
委員長	計画名「活力創出交流基盤整備計画」の事業評価ということで、議題1「制度概要について」事務局の説明をお願いします。
土木政策調整課長補佐	それでは制度概要についてご説明します。（資料により説明）
委員長	ご質問等ありますか。 （質問等なし）
委員長	次に、議題2「社会資本総合整備計画の概要について」事務局の説明をお願いします。
土木政策調整課長補佐	それでは社会資本総合整備計画の概要についてご説明します。（資料により説明）
委員長	ご質問等ありますか。
委員	事業実施状況に全体事業費46億と記載があるが、このうち交付金はどのくらい交付されていますか。
土木政策調整課長	事業ごとに交付率がありますが、おおむね50%、23億です。
委員	了解しました。
委員	目標1に、「従前値26.9km/h、目標値32.3km/hとあるが、妥当な数字なのか分からない。26.9km/hが渋滞にどのくらい影響しているのか、目標値に達することで、どの程度渋滞が解消するのか、目安があれば教えてください。
土木政策調整課長	確かに、数字だけでは、渋滞の状況は分かりづらいと感じます。国・県・市・

	協会から成る渋滞対策協議会では、渋滞の定義が、走行速度20km/h以下とされています。26.9km/hという数字だけ見ると、20km/hを上回っているので渋滞ではなくなってしまうが、先ほどの説明にもあったとおり、信濃川にかかる6橋の平均値であり、中には20km/hを下回るものや、大手大橋のように30km/hを上回り、比較的渋滞を感じない橋もあります。当時、渋滞が顕著にあらわれていた長生橋では、16.3km/hという計測結果だった。これは、約1kmの区間を、発進・停止を繰り返しながら4、5分で渡り切る程度であり、市民感覚では渋滞していると言えます。そこで、全体の交通量を分散し、1橋にかかる負担を軽減しながら、走行速度を大手大橋並みに上げていこうと、目標値を設定しました。
土木政策調整課長補佐	45ページに、22年度に計測した橋りょうごとの走行値が出ており、それを平均すると26.9km/hとなります。
委員	26.9km/hが、勝手に設定された数字でなく、計測に基づいたものだと理解しました。
委員	25ページの交通事故の記載については、長岡市管内の人身事故という解釈で良いでしょうか。
土木政策調整課長	長岡警察署管内の市道上で起こった人身事故です。
委員	27ページの事業の実施状況内の、継続事業4つについて、実施予定期間と事業費の見込みを教えてください。
土木政策調整課長	継続の4事業のうち、2事業は部分的供用が開始され、残りの2事業は設計・調査・用地買収段階です。完了時期はそれぞれ異なります。
道路建設課長	「日越52号線ほか」事業については、道満川にかかる3橋の整備を行っており、平成31年度に2橋完成予定。残りの1橋は、周辺の交通の流れを見て、事業を進めます。「東幹線78号線ほか」事業については、平成31年度に完成予定です。
委員長	今後必要な事業費は。
道路建設課長	「日越52号線ほか」事業については、7000万円程度。「東幹線78号線ほか」事業については、約1億円です。
地域建設課長	「越路817号線」事業については、平成32年度完了予定。事業費は2年間で、2億から3億円予定で動いています。
栃尾支所建設課長	「栃尾山田土々谷本津川線」事業は、平成34年度完成を目指しています。事業費は4年間で4億円程度です。
委員	17ページ、都市計画マスタープラン内、公共交通網の整備について、公共交通への利用転換を促進するとありますが、後ほどの資料では、交通量が増加し、自家用車が増えているという記述があります。公共交通を利用するのは、若者や高齢者、障害者が中心になると思いますが、転換方法や見通

交通政策課長	し、実態について、どの程度諦観されているのでしょうか。
委員長	人口減少に伴い、公共交通の利用は減少していますが、具体的な数値は把握しておりません。
委員	他にご意見ありますか。
交通政策課長	38ページのバス停の上屋の設置は、どのような優先順位で行われていますか。また、具体的な反響や効果、例えばバスの遅延の解消などはあったのでしょうか。
委員	整備については、集客施設、具体的には教育施設、行政施設、総合病院、大規模商業施設周辺のバス停や、電車やバスの乗り継ぎ地点、パークアンドライド駐車場等を優先しています。具体的な調査は行っていないが、バスの運転手の聞き取りによると、学生から雨風や強い日差しがしのげるとい声が寄せられています。
道路管理課長	23ページの「市道延長33km」について、どのような経緯で市道が増えているのか。私道が市道になったのか、増設したのか。33kmが長岡市にとって妥当なのか分からないので、経緯を教えてください。
委員	新設による延長の増加が大きい。例を挙げると、左岸バイパス整備により、1.9km、北スマートICの整備により1.1km、信濃川右岸の堤防整備により、3kmなど。また、区画整理など、市以外の開発行為により、道路ができることもあります。上条の区画整理で2.3km、花園の区画整理で3.3km、喜多町の区画整理で2.3km増えています。また、県道が市へ移管されるケースもある。例を挙げると、槇山亀貝線の整備により、1.5km増えました。
委員長	良く分かりました。
土木政策調整課長	指標は確かな見込みがあって設定したのか。数字を足しても、目標値には達しないのでは。そうすると、目標値は当時どうやって設定されたのか。
委員長	29年度末に確認できる、過年度の市道延長の増加を目安に設定しました。毎年30%程度は、市道の伸びが確認できているということか。
土木政策調整課長	過去5ヶ年で33km伸びています。
委員長	もう1点併せて確認したいが、指標1の目標値は、比較的混雑の少ない大手大橋をベースに設定したと聞いたが、適切な指標と言えるか。
土木政策調整課長	感覚的な話になるが、大手大橋はストレスなく利用でき、通勤時間帯でも渋滞は少ない。実際に走行して時間と距離を計測し、他の橋についても、大手大橋に近付きたいと考えました。上位計画である長岡市総合計画でも、同じ数値を使っています。
土木政策調整課長補佐	補足だが、平成22年度の7時30分～8時30分の1時間に、実際に走行して速度を計測しました。大手大橋は1時間の計測で、11回往復することができ、20km/h以下の数値は出ませんでした。対する長生橋は、渋滞が常態化

委員長	<p>していたので、ドライバー感覚として、ストレスなく走行できる大手大橋の数値に近付けたいという想いで、この目標値を設定しました。</p> <p>数値設定の背景をうかがうことができた。21ページの成果目標の指標は、どのタイミングで設定されたのか。また、どこで決まったのか。</p>
土木政策調整課長	<p>審議いただいている計画は、25年度から29年度のもの。24年度に計画を策定し、25年度から実施したので、24年度の時点で知りえる様々なデータを基に設定しました。</p>
委員長	<p>数値と指標は、市役所で決めたのか。委員会等で審議はしていないのか。</p>
土木政策調整課長	<p>長岡市で決定しました。</p>
委員長	<p>指標の設定は、評価に大きな影響を及ぼします。過去にも、目標値をどうやって決めたのか、議題に上がることも多かったので、様々な意見を聴取し、調整した上で、適正な指標を設定していただきたい。</p>
道路管理課長	<p>次に消雪施設の補助について、申請状況と、予算の執行状況についてお聞きしたい。</p> <p>34ページをご覧ください。28年度の実績は118件。新設が44件、更新や部分的な増設が74件。事業費が5億9千万。補助制度は人気があり、申請された町内には行き渡っています。毎年10月に要望を募るが、例年100件以上の申し込みがあり、それに備えて予算を確保しています。</p>
委員長	<p>申請されたものは全て認めているのか。</p>
道路管理課長	<p>審査し、基準に合致しているものは全て受け付けています。</p>
委員長	<p>了解しました。他に意見がなければ、次の議題「3 評価結果の内容」に移ります。</p>
土木政策調整課長補佐	<p>それでは評価結果の内容についてご説明します。(資料により説明)</p>
委員長	<p>評価結果について、説明いただきました。それでは、審議に入ります。審議の際は、長岡市が主体的に行った評価結果について、第三者の視点で、妥当性・客観性・合理性があるかどうか、チェックをお願いします。</p> <p>委員の皆様からは、目標値・評価値・達成度については、合理的で客観的に妥当なものであるかどうか。さらに、効果発現要因の整理については、各事業と指標の関連性が妥当であるか等を中心に、御発言願います。なお、質問があった場合は、その都度、市から回答するよう、お願いします。</p>
委員	<p>指標1の評価値について、実際に走行して計測したと説明がありましたが、いつどの時間帯に、何回計測したのかで、数値にも変動があるので、どれぐらいの量のデータ内でこの数字が出たのか、お聞きしたい。</p>

土木政策調整課長	国の交通量調査は、10月頃の標準的な時期に行っています。従前値は、11月の平日朝、通勤ラッシュ時の7時から9時に、橋りょうの東西交差点内を連続往復し、計測しました。評価値についても、今年の10月・11月に、同様の方法、時間帯で測定しました。
委員	数日測定して、平均値を取ったのではなく、サンプルで設定した1日に測定した値を使用したということでしょうか。
土木政策調整課長	その通りです。
土木政策調整課長補佐	周辺で大規模な工事を行っていないかを調べ、月・金は避けるなど、外部要因で数字が動きづらい時期を設定しました。
委員	交付金制度は全国で利用されており、指標は他の市町村でも取り上げられているオーソドックスなものだと思うが、何日か統計を取ったりせず、1日で計測した値を使うことが一般的なのでしょうか。
土木部長	国では、道路交通センサスを5年ごとに行っています。近年は、平成22年と27年に行われたが、27年分は集計中。こちらの調査は、秋季の火・水・木で交通に影響の少ない日を設定し、全国一斉に行っている。平成29年度は、道路交通センサスがなかったので、国の考え方に準拠し、市独自に調査した。過年度の結果と比較し、イレギュラーな結果が出た場合は追加調査が必要だが、今回の結果は妥当な範囲だったと推測されます。
委員	国の交通量調査の方法に準拠して行っていると理解しました。
委員長	道路交通センサスは1日で実施するのか。
土木部長	これからの時代は、ITなど新たな技術を取り入れ、より簡単に行えるかもしれないが、今までは人が張り付いて調査を行い、時間と経費がかかるので、1日で行うのが通常です。
委員長	他に意見はありますか。
委員	50ページ、指標4について、交通事故件数の傾向線の出し方について。平成20年から22年までを結んで傾向線を出しているが、23年に大きく件数が落ちています。もし、23年から25年を結んで傾向線を出した場合、30%程度落ちるのではないかと思います。20年から22年を結んで傾向線を出すことは適切でしょうか。
土木政策調整課長	計画が25年度からということで、24年度に知り得る最新の情報を基に件数を出しています。24年度の最新の統計年鑑は23年度のものであり、これは、22年度時点の数値を用いています。結果的に23年度、100件以上数字が落ちていて、妥当性については内部でも議論したが、策定時点での数値を用いるということで、このような表になりました。

委員	<p>計画時点では、23年度以後の数値はなかったということで理解しました。</p> <p>もう1点確認したいのですが、このまま傾向線をたどると、いつかゼロになってしまうが、それはあり得ません。実際はゆるいSカーブになり、ある限界値に達するはず。今回はこれで良いが、今後目標値を立てる際は、直線ではなくある程度の数値を見込む必要がありますが、その考え方についてお聞きしたい。</p>
土木政策調整課長	<p>傾向線を出すには計算式があり、ゼロにはならないが、このスパンの中では直線になってしまう。今後の計画にあたっては、十分整理しながら、妥当な数値を設定したい。</p>
委員	<p>了解しました。0にならないという認識があれば良いと思います。</p>
委員	<p>指標1の走行速度について、蔵王橋の速度が落ちており、長岡北スマートの影響が大きいと思うが、策定時点で建設は分かっていたのでしょうか。</p>
土木政策調整課長	<p>計画が進んでいたのので、認識していました。</p>
委員	<p>策定の時点で、北スマートの影響が予測できていたとなると、大きなインフラの変更があったことは、この資料の中で踏まえなくてよいのか。想定外のものができて、大幅に数値が狂ったということはないのでしょうか。</p>
土木部長	<p>委員のおっしゃるとおり、当初想定し得なかった大きな変化があれば、評価資料に書き込み、留意が必要だが、過去5年は、私どもが予測し得る範囲の社会環境変化しかありませんでした。</p>
委員長	<p>今の御発言の意図は、スマートICの影響が大きいので、指標が落ちても仕方ないという意味合いに受け取りました。</p> <p>他にご意見ありますか。(意見なし)</p> <p>では、市から提示された43ページの指標の達成度について、御意見があればいただきたい。</p>
委員	<p>達成されていると思います。指標1は△になっているが、長生橋を利用すると、劇的に改善されていることを実感し、当初の目標が高すぎた感もある。有効に計画が進んでると思います。</p>
委員	<p>妥当な評価だと思います。</p>
委員	<p>一般市民の視点から見ると、市では色々な事業が計画に基づき実行されていると感じます。施策に取り組み、改善されていることが理解できたが、市が取り組んでいることが見えづらく分かりづらい。議事録を拝見したが、市民はなかなか見ない。市が取り組んでいる事業を、広く理解いただけるとよい。</p>

委員	ハードルの上げ下げによって、達成度も変わってきます。今回の事業を見れば、十分達成されていると感じる。ただ、指標1については、現時点では、46ページによると、人口は減っているが、車の台数は増えている。事故件数は減っている。この状況を、単純な図に落とし込んでいいのか疑問。一方で、幹線道路や歩道の整備がしっかり進んでおり、安全策にも力を入れているという認識。これから橋りょうが増える予定がなく、車の台数が増える中で、これから30.4km/hという評価値がどのように改善していくのか、見守っていきたい。
土木政策調整課長	左岸バイパスの南北延伸、国道8号から蔵王橋、北スマートICとつなげていきます。加えて、今2車線の橋を4車線化するというものを視野に入れていきます。国・県・関係機関とも連携しながら、将来を見据えた計画を進めていきます。
委員長	事前に同様の質問を行った際、ネットワークの構築が未完成だという回答をいただきました。フェニックス大橋についても、アクセス道路が十分ネットワーク化していません。こういった箇所を進めて、ネットワークが形成されていくと、混雑具合も変わってくるのでは。
委員	指標を見ると、十分達成されていると感じる。長岡市でも人口が減少している中、指標1の交通量を見ると、車の台数は増えていることが分かります。使用数値が古いものなので、最新の情報があれば提示いただきたい。高齢化社会で、運転者・歩行者ともに高齢者が増える中、運転者だけでなく、歩行者にとっても安全な道路を整備することで、交付金制度が活かされると思います。
道路管理課長	質問ですが、除雪の補助金については完了でなく、今後も継続と考えてよいでしょうか。
委員	引き続き受け付けています。
委員	もう一つ質問されていたようだが。
委員	46ページに、平成27年度の交通量台数が表示されているが、直近の数字を押さえているなら、教えていただきたい。
土木政策調整課長	国の道路交通センサスの数値を用いており、次回調査が平成32年。長岡市独自での調査は考えていない。最近、高速道路や主要な直轄国道で、特に大型車が増えているという流れがあり、台数は増え続けていることが想定されます。
委員長	指標については、ほぼ妥当という御意見をいただいた。指標1～4については、委員会で承認したとさせていただく。最後に、51ページの効果発現要因の整理については、この内容でよろしいか。 (異議なし)

<p>委員長</p>	<p>概ねこの内容で良いということで、議題3の評価結果の審議については、終了します。</p> <p>ここで休憩を取ります。</p> <p>(休憩)</p> <p>審議を再開したい。議題4の「今後の社会資本整備」について、市から説明願いたい。</p>
<p>土木政策調整課長補佐</p>	<p>それでは「4 今後の社会資本整備について」ご説明します。(資料により説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>御発言をお願いしたい。本日の事業について、達成されたことと、今後の課題について整理いただいた。今後予定している具体的な事業についても記載されており、イメージしやすい。今後適正に実施していくことが重要。全体的なことでも、それぞれのバックグラウンドの観点から専門的なことでも結構なので、御発言願いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>専門が、まちづくり・景観・ランドスケープなので、1番目の広域基幹道路網の構築に興味を持っている。広域道路ネットワークは、全体のネットワークが形成されて初めて効果が表れる。その観点から見ると、特に事業中の左岸バイパスは重要。全国どこでも同じような景観になりつつある中、左岸バイパス事業と併せて、景観を考えていったらどうか。行政は縦割りになりがちだが、連携しながら、進めていってほしい。長岡は良い資源があるが、うまく活かしている例は少ない。豊かな地域資源を活かした整備、例えば壁面後退や駐車場緑化、また、簡単に水路を埋め立てるのではなく、全国的にも珍しい水辺のあるバイパスの景観など、広域的、俯瞰的、中・長期的な視点から事業を進めていただきたい。そこで、建設事業と景観事業を結び付けるような施策があれば聞かせてください。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>市では、平成28年に景観アクションプランを発表し、豊かな歴史・文化と調和する道路整備を考えていくこととしています。大変重要な観点だが、具体的な施策はまだ進んでいません。今後は関係セクションとも連携していきたいと考えております。</p> <p>また、現在、広域道路ネットワークを将来的に考えるため、懇談会形式で経済界・市民代表の方から参画いただき、長岡版道路ビジョンを取りまとめています。その中で委員の方から、長岡の豊かな自然を取り入れながら整備することが必要という意見がありました。景観を見ながら移動することも観光になり、山古志の棚田や八十里越等福島に向かう道路など、ルート検討を進めることが必要と考えている。皆さんから具体的な方策等、お寄せいただきながら、関係セクションと連携しながら、事業を進めていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>今ある美しい景観だけでなく、何気ないものにも価値があり、それを掘り起こ</p>

委員長	して磨いていくことが必要。何もなければ消えてしまうものも、人の手を加えることで、地域に誇れる宝になるので、そういった視点を大切にしてほしい。
委員	景観という切り口は重要で、事業整理の有り方を見ると効率重視になっているので、景観や魅力づくりの観点も継続して持っていただきたい。
土木政策調整課長	今の景観の話にも係わるが、生活者だけでなく、地域外から来る方にもシンプルで使いやすく分かりやすい幹線道路の整備が大切。特に外国人のレンタカーでの移動にも対応できるよう、お願いしたい。方策1の改善方策について、「社会情勢の変化に注視し、計画を見直す」とあるが、事業が進みだすと見直しは難しい。このように改善方策に上げてしまうと苦しいのではと気になりました。
委員長	社会情勢の変化をとらえ、計画の見直しは適宜行いたい。財源確保については交付金が必要な比重を占めるので、有効的な活用を進めていきたい。
土木部長	計画には長期と短期があり、今回の記載は、短期的な計画を記載しているのでは。
委員	計画を見て考えることは、先行き不透明な中、道路行政の中だけで道路を考える時代でないということ。例えば、市全体で人口減少の課題に取り組むため、交流人口の拡大を目指す、工業団地を造る、観光交流拠点の整備を行うなど、様々な政策展開が考えられる。市全体の動きを見ながら、優先順位を考え、柔軟に進めていきたいので、御理解をお願いしたい。
道路管理課長	除雪について、経済活動や人命にも係わるので優先順位を上げ、取り組んでいただきたい。また、除雪のIT化についてお聞きしたい。
委員	北海道の高速道路の例ですが、除雪車にGPSを設置し、人工衛星から位置情報をやり取りし、自動運転を行っている。あとは、除雪オペレーターが1人でも運転できるよう、モニターをつけ、雪の降らない時の状況を映しながら作業ができるようにし、若手育成につなげる新技術もあります。あとは、消雪パイプについて、栖吉にある防災科学研究所とタイアップし、20箇所程度にセンサーを付けています。最近では雪の降り方がゲリラ的なので、稼働場所が分かるようにしています。
委員長	除雪業界も人手不足だと思うので、そういった新技術をぜひ活用してほしい。
道路管理課長	除雪は地元の業者が行っていると思うが、オペレーターの育成のためにも、包括的管理の推進が必要。継続的な雇用が確保できないと、災害時の対応が難しくなる。色々な事業と組み合わせた委託や、年度をまたいだ契約などを進め、人材育成・地元の活性化に努めていただきたい。
	川口地域で、除雪の企業体へ、雪の降らない時期の道路維持管理も含めて、包括委託しています。夏場の道路状況が事前把握できることから、冬場

委員	<p>の除雪作業もスムーズであり、通年雇用にもつながっています。通年のパトロールや修理管理も含め、包括委託を行っており、今後の事業の発展も考えられます。</p> <p>この10年、国を挙げて、障害者や高齢者が地域で生活することが推進されており、在宅サービスの利用者が増加し、送迎車も増えています。除雪がしっかりされていると、乗車している障害者や高齢者の体への負担も少ないので、雪国において、除雪は第一に考えていただきたい。昨年も、委員会で人材育成の観点から質問を行ったところ、民間業者と連携していると回答いただきました。今回の計画にその点が盛り込まれていることが確認でき、安心いたしました。</p>
道路管理課長	<p>私たちが、パトロールしながら除雪のタイミングを図っています。これから高齢化社会、車社会が進むので、今後も継続していきたい。</p>
委員	<p>昨年の大雪の際、バイパスで車の横転事故があり、仕事にも影響が出ました。雪国の特性に配慮した環境整備は最重点課題です。特に除雪の仕方が大切。圧雪の状況を見て、除雪のタイミングを考えてほしい。</p> <p>また、消雪パイプは、設置の際助成が出るが、設置後年々空き家が増え、一世帯あたりの負担額が高くなっている現状です。交付金の中で、設置だけでなく、運営にも補助が下りるよう、国にはたらきかけてもらえるとありがたい。</p>
道路管理課長	<p>圧雪剥ぎは、通常、日中の気温が緩んだときに行うが、昨年度は気温が上がらず、タイミングが難しかった。タイミングを逸しないように、注意したい。</p> <p>消雪パイプについては、沿線の方が受益を受けるので、費用を負担していただいている現状。意見としては受け止め、考えていきたい。</p>
委員	<p>雪を生業としている方にとって、除雪の収入が重要。包括的な管理委託は良い方向。雪の有無により企業には大きな影響があるので、包括的な委託が少しでも広がればいい。もう1点は、色々なサービスを行っていても、市民に分かりづらいので、分かりやすく御説明いただき、理解につなげていただきたい。</p>
道路管理課長	<p>除雪も一つの産業。除雪だけでなく、一年とおして安定的な収益を生む取組について、他地域でも実施可能か検証を進めたい。市民への情報提供については、ホームページ等メディアの活用を図っていきたいと考えます。</p>
土木部長	<p>除雪について、様々な御意見をありがとうございます。市民生活を守るため、除雪にしっかり取り組んで参ります。業者の安定的な経営が必要ですが、そのために包括的委託に取り組んでおり、除雪車が稼働するしないに係わらず、一部固定費や待機料の支払いを行っています。いずれにしても変動性はありますので、どのような支払方法が良いか、業者と議論を重ねていきます。</p>

<p>委員長</p>	<p>消雪パイプにつきましては、高齢化で負担が増えている現状は認識しています。一方で、水が出ず、機械除雪に頼っているところもあるので、公平性の観点も考慮しながら、落とし所を考えていきたいと考えます。</p>
<p>委員</p>	<p>委員から様々な意見をいただきましたが、他に御意見はありますか。</p>
<p>土木政策調整課長</p>	<p>2つ目の課題「安全で快適な市民生活」の今後予定している事業について、自動運転やカーシェアリングなど、車の扱いがこの数年で大きく変わるので、それを見越したインフラ整備を考えることが必要だと感じています。</p>
<p>委員長</p>	<p>大変重要だと思います。長岡市でも自動運転の取組を行っているが、そういった視点を忘れずに取り組んでいきたい。</p> <p>社会が大きく変わっていくことが想定される中、どのような社会資本整備を行っていくべきか、ぜひ検討を続けながら、効率的で無駄が無い取組を考えてほしい。</p>
<p></p>	<p>他にいかがでしょうか。(意見なし)</p>
<p></p>	<p>概ね御意見をいただきました。審議事項であり、資料に示す方策について、御説明と御審議をいただきました。頂いた御意見は概ね、提案について御了承いただいたものと考えます。</p> <p>そこで、内容については了承しましたが、「委員会でフィックスしたからこのままで良い」ということではなく、常に見直ししながら、各委員の意見も踏まえ、ブラッシュアップを図ることをお願いし、この御提案を認めることとします。</p> <p>議案4が終わりましたので、最後、「5 今後のスケジュールについて」、御説明をお願いします。</p>
<p>土木政策調整課長補佐 委員長</p>	<p>最後に今後のスケジュールについてご説明します。(資料により説明)</p> <p>ただいま、今後のスケジュールについて御説明いただいたので、今後このスケジュールで進めていくことで、了解願いたい。</p> <p>以上で、すべての議事が終了しました。</p>